

# 点字（誘導）ブロックのG空間データ化利活用

誰でもが社会の一員として参加できる障壁のない街づくりへ

現状

障害者向けの  
バリアフリーマップや  
設備が公開・整備

必ずしも  
効果的な  
利用が  
されていない

将来



2020年  
東京オリンピック・  
パラリンピックの  
開催をベンチマーク

警告ブロック 誘導ブロック



特に視覚障害者  
向け点字ブロックの  
有用性に着目

◆健常者・障害者・国内・国外の来訪者◆  
駅、地下街、ショッピングセンターなどの  
人が集まる場所の施工状況



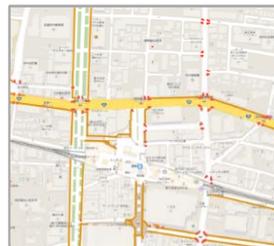
点字ブロックの  
G空間データ化!

- 測位技術の向上
- インフラの整備

専用デバイス  
による情報授受

- 施設データ
- ビル名/階数
- 駅名/路線
- 歩道の形状
- 階段/スロープ
- エスカレーター
- エレベーター
- 交通インフラの案内
- ナビゲーション

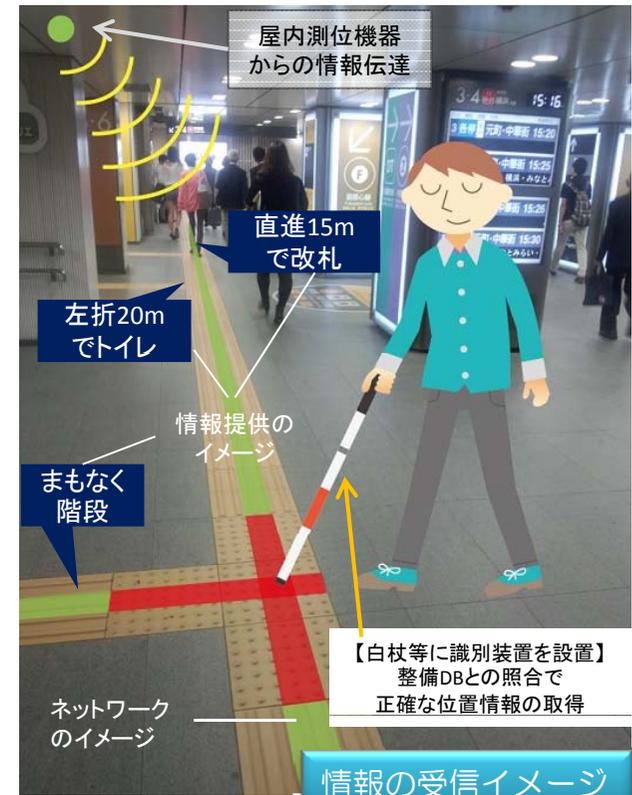
WEB公開



印刷・出版  
介助者を含めた  
情報の認知  
情報の持ち歩き



案内図



【白杖等に識別装置を設置】  
整備DBとの照合で  
正確な位置情報の取得